

ActiveVisor™

システム・データ保護ソリューション「ActiveImage Protector™」用集中管理コンソール

ActiveVisor™とは

ActiveVisor™は、ActiveImage Protector™が導入されている、Windows、Linuxマシンのバックアップ状況の監視やプッシュインストール、バックアップタスク設定の配布などを集中管理できる統合管理コンソールです。ActiveVisor™により、物理・仮想・クラウド環境上のActiveImage Protector™の状態確認や設定を、どこにいても一元的に管理できますので、管理者の作業負担を大幅に軽減します。

ActiveVisor™の特長

管理対象マシンの一括監視

- ・実行中タスクの状況
- ・管理対象マシンの状態
- ・ライセンスのアクティベーション
- ・ライセンスのサポート期限
- ・バックアップの保存先容量

管理対象マシンのリモート操作

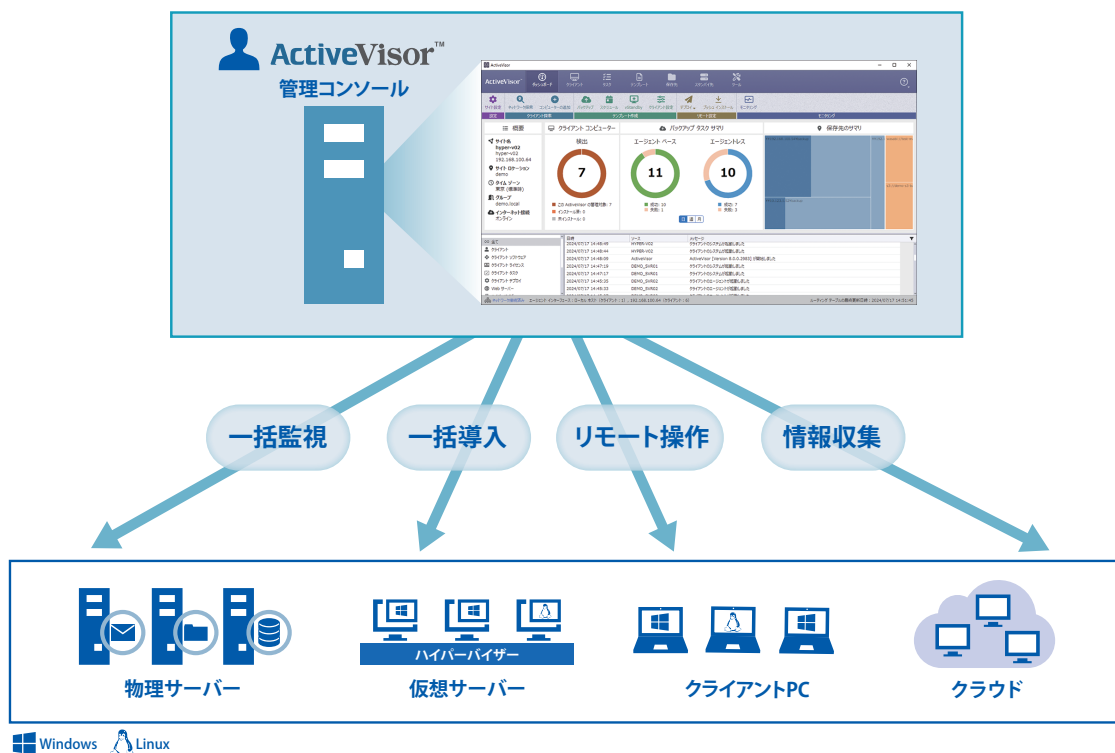
- ・エージェントへのリモートコンソール接続
- ・各タスクの作成 / 実行 / 編集 / 無効化 / 一時停止 / 再開
- ・RescueBootのリモート起動、リモート操作
- ・QuickRecoveryのリモート起動、リモート操作
- ・管理対象マシンのシステム再起動
- ・リモート復元 **New!**

管理対象マシンへの一括導入

- ・エージェントのプッシュインストール
- ・更新パッチのプッシュインストール
- ・バックアップタスクのテンプレート作成
- ・バックアップタスクのテンプレートのデプロイ（配布）
- ・ライセンスのデプロイ（配布）

管理対象マシンの各種情報収集

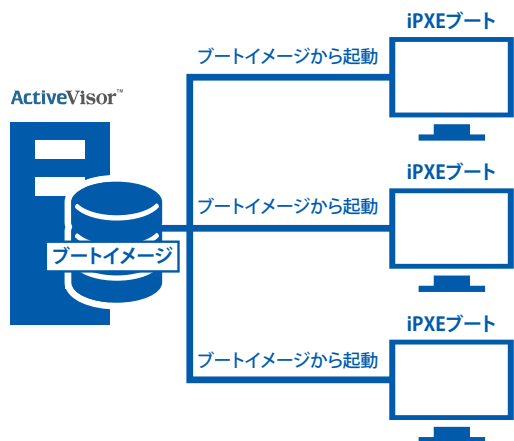
- ・バックアップのタスクログ / アラート / イベントログ
- ・バックアップタスク設定
- ・管理対象マシンのディスク情報
- ・管理対象マシンのインベントリ情報
- ・バックアップ保存先のディスク情報



新機能 (2025 年 5 月リリースでアップデートされた新機能)

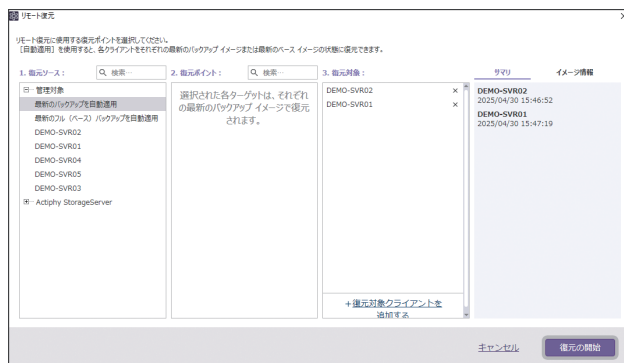
クライアントのiPXEブート

ActiveVisorに、ネットワークブートシステムのPXEサーバー機能が実装され、ネットワーク経由でブートイメージからクライアントコンピュータを起動することができます。また、PXE機能を拡張した新しいiPXEにより、高速なクライアントコンピュータの起動を実現しています。



リモート復元機能

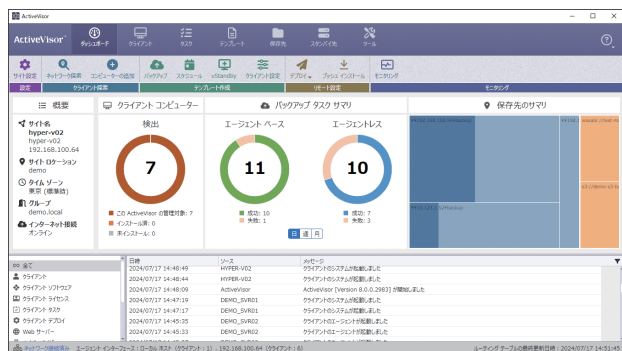
リモート復元から、RescueBoot、またはPXE起動した復元対象のクライアントを選択すると、自動的に最新のバックアップ、または最新のベース (フル) バックアップを抽出し、バックアップ保存先を指定することなく、簡単に復元作業がおこなえます。



一括監視

ダッシュボードからの監視

ActiveVisor™が検出したマシンの数、エージェントベース / エージェントレスのバックアップタスクの成功 / 失敗件数、バックアップ保存先のストレージの空き容量などを確認できます。



タスク名	クライアント	バックアップタイプ	ステータス
DEMO_SVR01	DEMO_SVR01	Full Backup	成功
DEMO_SVR02	DEMO_SVR02	Full Backup	成功
DEMO_SVR03	DEMO_SVR03	Full Backup	成功
DEMO_SVR04	DEMO_SVR04	Full Backup	成功
DEMO_SVR05	DEMO_SVR05	Full Backup	成功
DEMO_SVR06	DEMO_SVR06	Full Backup	成功

クライアント一覧から障害発生の確認

何らかの障害が発生した場合、どのマシンでどういった障害が発生したかを視覚的にわかりやすく表示しますので、即座に復旧作業に着手できます。

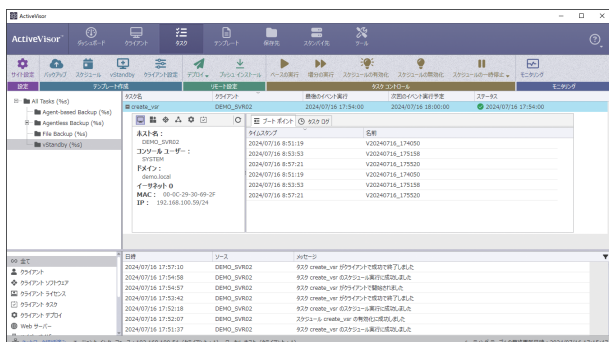
クライアント一覧からの監視

管理対象マシンのバックアップタスクの状況やスケジュール情報などを確認できます。複数のマシンの状態が一覧表示されますので、状況を素早く把握することが可能です。また、管理対象マシンは、自由にグループ分けして管理できますので、実際の構成に合わせて設定できます。

クライアント名	IPアドレス	ステータス
DEMO_SVR01	192.168.100.54	正常
DEMO_SVR02	192.168.100.55	正常
DEMO_SVR03	192.168.100.56	正常
DEMO_SVR04	192.168.100.57	正常
DEMO_SVR05	192.168.100.58	正常
DEMO_SVR06	192.168.100.59	正常

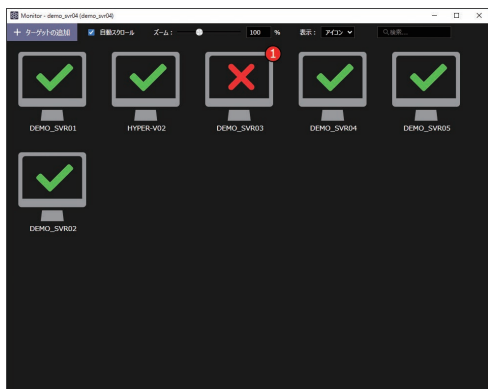
スタンバイマシンの一覧管理

vStandbyの各スタンバイマシンが配置されるハイパーバイザーや状態を一覧で表示し、素早く確認できます。

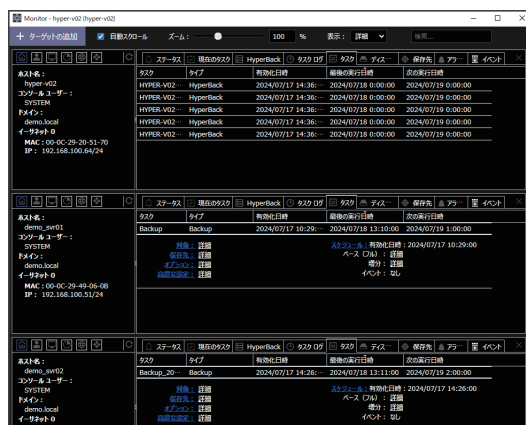


モニタ画面による監視

ActiveVisor™のコンソールとは独立したモニター画面から、監視したい管理対象マシンのバックアップタスクの状態などを、アイコンで常時表示しておくことができます。正常時は緑色、失敗は赤色、未接続やアクティベーションされていない状況などの警告はオレンジ色で表示するなど、状況を瞬時に視覚的に把握できます。

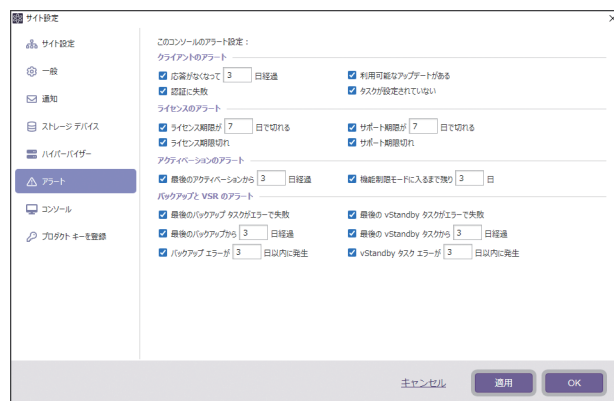


更に、モニター画面からは、管理対象マシンのバックアップタスクの状況など、詳細な情報を表示できます。



多彩な監視ポイント

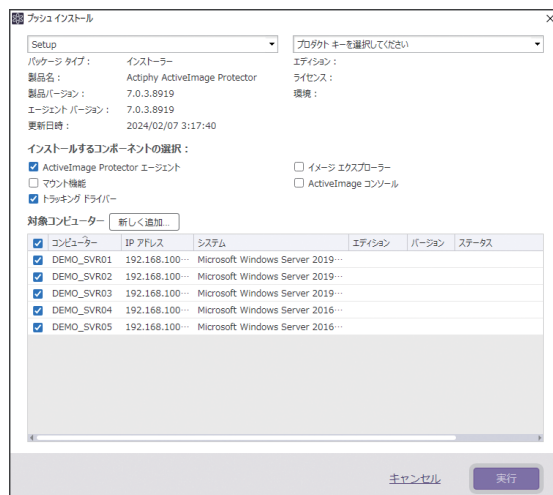
ActiveVisor™の監視は、バックアップタスクの状況監視に加え、管理対象マシンの状態、ライセンスやサポート期限、指定期間内のバックアップの状況など、多彩な監視ポイントの設定が可能です。



一括導入

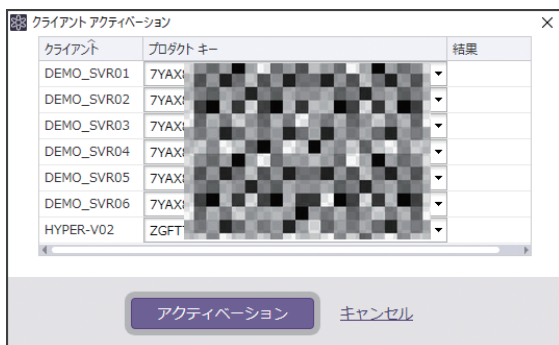
エージェントのプッシュインストール

エージェントベースのActiveImage Protector™、およびActiveImage Protector™のエージェントレス機能 (HyperAgent™) をリモートから、一括でプッシュインストールできます。ActiveImage Protector™ Virtualのプロダクトキーを使用して、ハイパーバイザー上の仮想マシンへプッシュインストールもできます。



ライセンスの情報表示 / 一括設定

管理対象マシンにインストールした、エージェントに適用されているライセンスやプロダクトキーの情報を表示できます。ActiveVisor™で管理対象となるのはサポートサービスが有効なクライアントですので、どのライセンスが有効期限内なのかを確認できます。また、各エージェントに対して、ライセンスの設定、アクティベーションが可能です。



スケジュールテンプレートの作成

同一パターンのバックアップスケジュールのテンプレートを作成し、一括配布できます。個別に、管理対象マシン毎にスケジュール設定することも可能です。



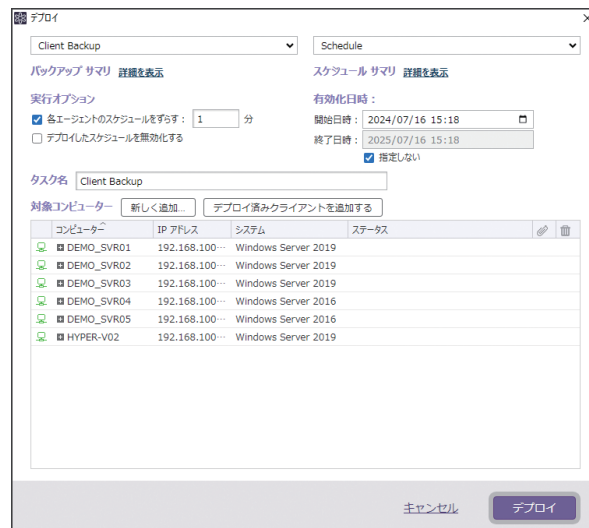
バックアップテンプレートの作成

同一パターンのバックアップ設定（バックアップ対象、保存先）のテンプレートを作成し、一括配布できます。個別に、管理対象マシン毎にバックアップ設定することも可能です。



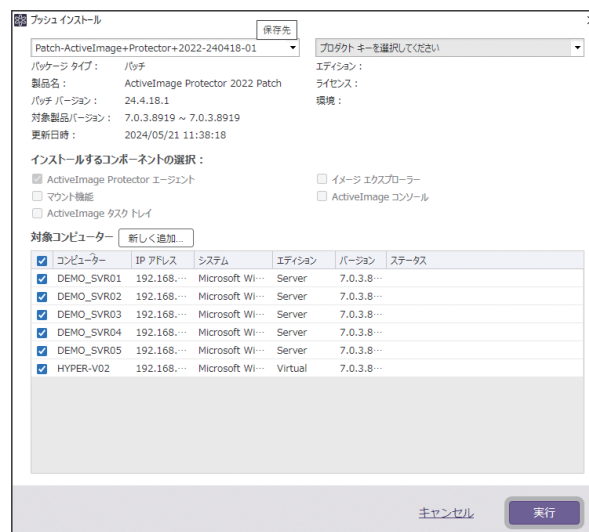
テンプレートのデプロイ（配布）

作成したバックアップとスケジュールのテンプレートを、複数の管理対象マシンへ同時に配布できます。また、テンプレートを再利用して、後で同じ設定を再度配布することも可能です。これにより、今まで管理対象マシンに対して、一台一台おこなっていた設定作業が一度の操作で完了できますので、大幅な工数の削減になります。



更新パッチのプッシュインストール

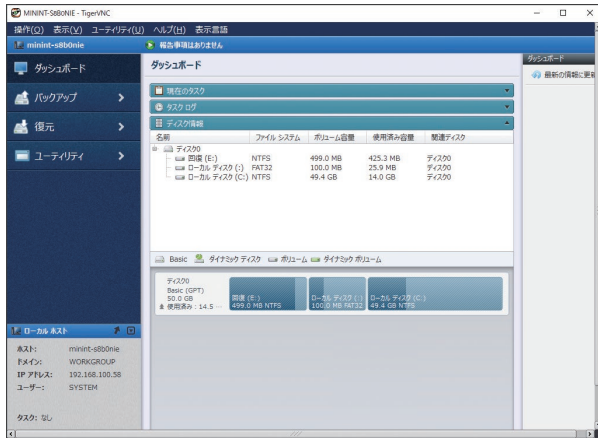
通常のエージェントのプッシュインストールに加え、ActiveImage Protector™のパッチもプッシュインストールできますので、複数のActiveImage Protector™を更新する場合にも、作業時間を大幅に短縮できます。



リモート操作

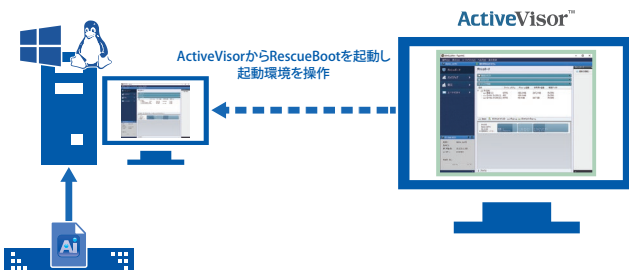
リモートコンソール接続

ActiveVisor™のリモートコンソールから、管理対象マシンのエージェントに接続して、バックアップタスクの作成や実行など、ローカルコンソールと同じ操作がおこなえます。



RescueBootのリモート操作

起動環境のメディアなしで復元環境を起動できるRescueBootを、ActiveVisor™からリモート起動して、起動環境の操作がおこなえます。ソフトウェア的な障害であれば、復旧が必要なマシンの前まで足を運ばなくても、ActiveVisor™からシステムの復元をおこなうことが可能です。

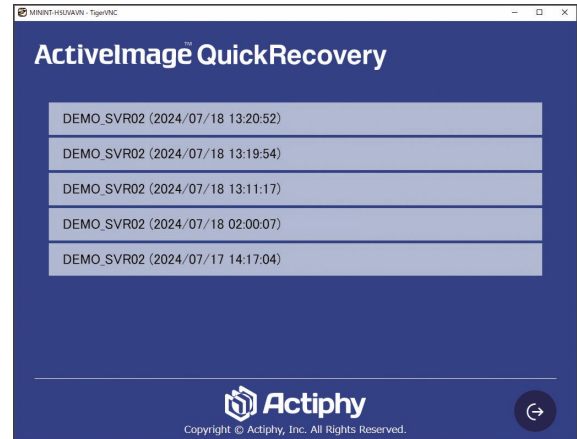


起動環境の起動後に、VNC Viewer接続設定

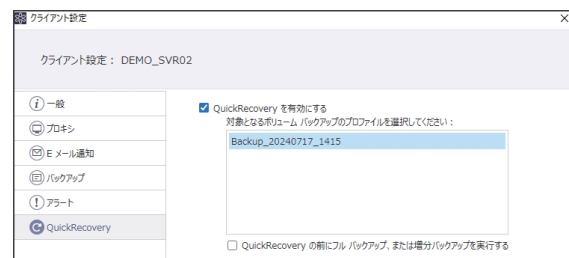
コンピューター	ロケーション	システム	エージェント	バージョン
DEMO_SVR01	192.168.100...	Windows Server 2019	Server	7.0.4.9021
DEMO_SVR02	192.168.100...	Windows Server 2019	Server	7.0.4.9021
DEMO_SVR03	192.168.10...	Windows Server 2019	Server	7.0.4.9021
DEMO_SVR04	192.168.10...	Windows Server 2019	Server	7.0.4.9021
DEMO_SVR05	192.168.10...	Windows Server 2019	Server	7.0.4.9021
DEMO_SVR06	192.168.10...	Windows Server 2019	Server	7.0.4.9021
HYPER-V02	192.168.10...	Windows Server 2019	Server	7.0.4.9021

QuickRecoveryのリモート操作

ActiveVisor™から、QuickRecoveryをリモート起動して、復元環境の操作をおこなうことができます。QuickRecoveryは、起動時に自動的に復元環境を作成するので、起動環境のメディアを作成してなくても復元が可能です。また、復元環境の起動後に、復元ポイントを指定するだけで、簡単にすぐにシステムの復元がおこなえます。

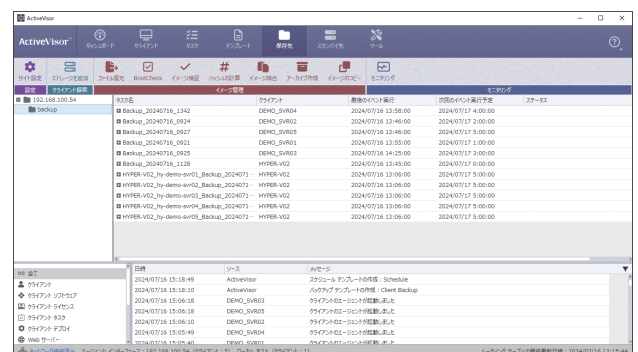


QuickRecoveryの起動設定



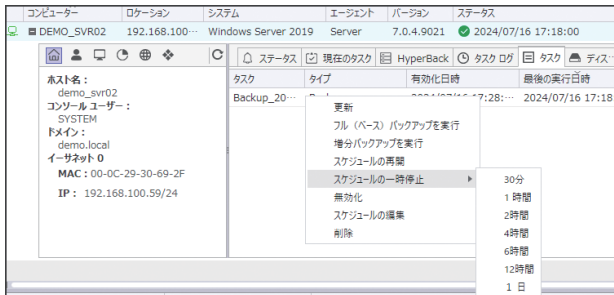
イメージ管理機能

バックアップの保存先リストから、直接イメージファイルを選択してファイル復元 / BootCheck / イメージ検証 / ハッシュの計算 / イメージ結合 / アーカイブ作成 / イメージのコピーが可能です。これにより、イメージファイルを集中的に参照して、必要な操作を適宜おこなうことができます。



タスク処理の実行制御

タスクに対して、簡単にスケジュールの一時停止 / 再開の実行制御がおこなえます。



Webブラウザ経由での管理が可能

ActiveVisor™ は、Webブラウザで管理することもできますので、管理者はどこにいても作業が可能です。サポートしているブラウザは、Google Chrome、Microsoft Edge、Apple Safariです。

